

平成30年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

寄付者の方から使い道を指定して福井県にいただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

平成30年4月から平成31年3月までに使い道を指定していただいた寄付

件数 1,337件

金額 53,819,146円

1 ふるさと母校応援

寄付金額 19,488千円

- 福井県内の各高校で学ぶ後輩を応援するため、寄付額の1/2は指定先の高校へ、残りの1/2は返還の必要のない県全体の給付型奨学金制度「きぼう応援奨学金」に活用しました。
- 高校では、生徒たちの学習に必要な物品の購入やスポーツ用具等の購入、海外研修の実施に活用しました。
- プロジェクト応援型母校応援では、JETSの米国公演と甲子園出場校の応援に活用しました。
- 平成27年度から毎年約20名の生徒に対して、「きぼう応援奨学金」を3年間給付しています。



生徒からの感謝の手紙

2 高校生の長期海外留学支援

寄付金額 12,390千円

- 高校生のきぼう実現を応援し、国際社会で活躍できる人材を育成するため、平成28年度から高校生の長期留学に対する返済不要の奨学金制度を設け、皆様からいただいた寄付金を財源に1年以上の留学に対して奨学金を給付しています。
- 平成30年度は、香港やアメリカに留学する高校生4人を奨学生として採用し、奨学金を給付しました。



奨学生が留学しているUNITED WORLD COLLEGESの学生たち

3 福井しあわせ元気国体・障スポ応援

寄付金額 5,481千円

- 平成30年に開催した福井しあわせ元気国体・障スポ大会において、パリアフリー環境の整備、市町・競技団体が実施する国体・障スポ「融合」イベントやおもてなし等に活用しました。
- 人口80万人に届かない本県での、国体の完全優勝、障スポ選手の大躍進、大会運営の成功、融合の実現は、県民の自信と誇りにつながりました。
- 皆さまの温かいご支援のおかげで、元気あふれる大会となりましたことを感謝申し上げます。



福井しあわせ元気国体・障スポ大会ご卒業ありがとうございました

4 福井県立恐竜博物館の魅力向上応援

寄付金額 5,240千円

- 平成30年度は、福井県内での発掘調査やタイにおける共同調査を実施し、共同調査で発掘した恐竜の化石などを春の企画展で展示しました。
- 特別展の入場者数および野外恐竜博物館ツアー参加者数が過去最高を更新し、平成30年度の入館者数が過去最高の938,310人を記録しました。
- 学術や研究機能、展示内容の充実に加え、イベントなどを通じて、恐竜たちの魅力を全国に向けて発信します。



5 福井県民衛星プロジェクトの応援

寄付金額 2,319千円

- 福井県では、地方発の新たなビジネスモデルとして、産学官金が協力し、県内企業等が主体となって、超小型人工衛星を令和2年度上半期にロシアのバイコヌール宇宙基地から打ち上げる予定です。
- これまでに人工衛星の製造に必要な環境試験設備の整備を進めたほか、令和元年度は県民衛星を製造します。
- 本プロジェクトを通じ、宇宙産業への県内企業の参入を促進するとともに、衛星データを活用し、防災・土木・農林・教育など幅広い分野で県民生活の向上を目指します。



福井県民衛星プロジェクト

6 障害者トップアスリートの夢応援

寄付金額 1,641千円

- 障害者アスリートの活躍と夢を応援するため、県内の障害者トップアスリートが日本代表選手として出場する国際大会や代表合宿への遠征費等を支援しました。
- 平成30年度は14名の障害者アスリートを応援し、アジアパラ競技大会やU21デフバスケット世界選手権等の国際大会で活躍しました。



7 農業人材の育成応援

寄付金額 340千円

- 福井県では、農業に係る多様な人材の育成を進めるため、平成26年にふくい園芸カレッジを開講しており、平成30年度は、新規就農コース31名、プラス園芸コース(前期・後期)80名、スマート園芸コース4名を研修生として受け入れました。
- 平成30年度は、これからの農家に必要な、より高度で専門的な知識・技術に関する研修や農家としてやっていくための経営力、販売力を養う研修などの研修カリキュラムを充実させました。



8 ふくいブランド畜産物の普及応援

寄付金額 297千円

- 福井県の牛・豚・鶏の美味しいブランド畜産物を、一人でも多くの人に食べてもらい、味を知ってもらうため、生産者、飲食業者、流通業者が一丸となってふくいブランド畜産物のPRに努めました。
- 平成30年度は、国体における福地鶏のふるまいや県内飲食店における三ツ星若狭牛フェアの実施、福地鶏たまごの春スイーツフェアの実施など複数のイベントにおいてPRを実施し、多くの方にふくいブランドを知っていただきました。




**9 県内大学の魅力向上
応援** 寄付金額 **306千円**

○福井県内の各大学で学ぶ後輩を応援するため、寄付額の1/2は指定先の大学等へ、残りの1/2は「大学連携センター（Fスクエア）」の運営に活用しました。

○寄付をいただいた大学等では、キャンパス内での桜の植樹など環境整備や教育活動の充実に活用しました。

○Fスクエアは、共通のサテライトキャンパスとして、ふくいの魅力を学ぶ講義や、大学間の垣根を越えた交流活動を行い、平成30年度は、延べ2万4千人を超える利用がありました。



**10 中学生のNASA
派遣応援** 寄付金額 **220千円**

○福井県の宇宙産業の取組みの機運醸成に合わせ、子どもたちの宇宙科学・国際交流への関心を高め、将来、国際社会で活躍できる人材の育成を図るため、平成31年3月に、福井県内の応募者から選考した中学生10名を、米国のNASA等の宇宙関連施設や政府機関、学校などに派遣しました。

○宇宙に関わる仕事を志している参加者達は、夢の実現のためには幅広い知識や情熱が必要になると学びました。




11 移住定住の促進応援 寄付金額 **90千円**

○福井県への移住を促すため、県外で働く福井県出身者や福井への移住に関心のある方を対象に、福井での仕事や住まい、子育て環境の情報を提供しました。

○平成30年度は、お盆の帰省時期に福井と敦賀で、1月には東京、名古屋、大阪の三大都市圏において、県内企業との面談会や子育て環境や暮らしの相談会などを開催し、多くの方に福井で働く良さや優れた子育て環境、暮らしやすさを知っていただきました。

○福井県への平成30年度のU・Iターン者数は、過去最高の719名となりました。




**12 ふるさと起業家の
チャレンジ応援** 寄付金額 **6,007千円**

○新たな事業プロジェクトにチャレンジする県内事業者を応援するため、寄付金を県民の皆さんの活動資金として活用できるクラウドファンディングを活用した新たな仕組みを創設しました。

○平成30年度は寄付を募集した6つのプロジェクトのすべてが目標を達成しました。

○越前焼の技法を活用した腕時計の開発や、養殖アラレガコを使用した出汁醤油の開発、全国の職人やデザイナーが集まるものづくりイベントの開催等が実現しました。



平成30年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

使い道のご指定なくいただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

平成30年4月から平成31年3月までに
いただいた寄付


| | |
|----|--------------------|
| 件数 | 112件 |
| 金額 | 15,079,000円 |

使
い
道
を
定
め
ず
に

**1 子ども地球科学探求心
向上プロジェクト** 寄付金額 **3,800千円**

○子どもが、宇宙や科学に対して興味・理解を深めるため、「福井県児童科学館」の大型モニターで新たな映像コンテンツを放映しました。


○小学生の授業の一環として、専門家による展示解説や実験教室を体験する移動教室を開催し、12校、617名の児童が参加しました。



2 芸術教育推進事業 寄付金額 **3,800千円**

○小・中・高の弦楽推進校に年間を通してプロ奏者を派遣し、児童・生徒が豊かな音色を間近で聴きながら技術指導を受けられるようにしました。


○児童・指導者が一流の弦楽奏者の演奏を聴き、指導を受ける機会を設けました。



3 「年縞」活用推進事業 寄付金額 **3,600千円**

○考古学や地質学における年代測定の世界標準のものさしである水月湖年縞に関する展示や研究を行う「福井県年縞博物館」が平成30年9月15日に開館しました。


○45mの年縞の実物展示のほか、体験コーナーもあり、平成30年度の来館者数は3万人を超えました。



4 バリアフリー整備事業 寄付金額 **3,559千円**

○「障害のある人もない人も幸せに暮らせる福井県共生社会条例」の制定（平成30年4月1日施行）を機に、日常生活に身近な小規模商業施設等のバリアフリー整備の支援をすすめました。

○平成30年度は飲食店や理美容店が行うトイレや段差解消等の整備に対して支援を行いました。



※その他、「白川文字学」普及・研究促進事業に100千円、大雪支援に220千円をいただきました。